

環境に関する意識調査にご協力ください

資料⑤

入梅の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

現在、愛西市では、より良い環境づくりのための指針となる「第2次愛西市環境基本計画」の策定を予定しております。この計画を策定（改訂）するにあたり、皆様の環境に関する意識や環境保全の取組状況等について意識調査をさせていただき、現在の状況を把握するとともに、今後の展開を検討するための参考とさせていただきたいと考えています。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力くださいますようお願いいたします。

本調査のご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、上記の目的以外には使用いたしませんので、よろしくお願い申し上げます。

令和4年6月

愛西市長 日永 貴章

ご記入にあたって

1. 鉛筆、ボールペン、万年筆のいずれを使用されても結構です。
2. 質問は用紙の表と裏の両方にあります。ご記入が終わりましたら、もう一度回答もれがないかご確認ください。
3. 内容などについて、ご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

令和4年7月8日（金）までに、同封の封筒にてご返送ください。

☆ 本調査は愛西市役所 市民協働部 環境課が実施しており、調査全体の事務局を中外テクノス株式会社に委託しています（返送先は委託先の中外テクノス（株）です）。

お問合せ先

■ アンケートの主旨に関するご質問

愛西市役所 市民協働部 環境課 小倉、渡邊

TEL：0567-55-7114（内線 195・191）

受付時間 8：30～17：15（7月8日まで）[土・日・祝を除く平日]

■ アンケート内容に関するご質問（委託先）

中外テクノス株式会社 業務責任者：環境調査室 平松

TEL：052-739-3704 FAX：052-739-3706

受付時間 9：00～17：00（7月8日まで）[土・日・祝を除く平日]

【貴事業所について】

問1 貴事業所についておたずねします。当てはまる番号に○印をつけてください。

(1) 所在地について (1つを選択)

- | | | |
|---------|--|---------|
| 1. 佐屋地区 | 2. 立田地区 | 3. 八開地区 |
| 4. 佐織地区 | 5. 地区名が分からない方は、町名(○○町)をご記入ください。(町名:)) | |

(2) 業種について (1つを選択)

- | | | |
|-------------|----------------|---------------|
| 1. 農林漁業 | 2. 建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 卸売・小売業 | 5. 飲食業 | 6. 金融・保険・不動産業 |
| 7. 運輸・通信業 | 8. 電気・ガス・水道供給業 | 9. サービス業 |
| 10. その他 () | | |

(3) 従業員数について (1つを選択)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5～10人未満 | 3. 10～30人未満 |
| 4. 30～50人未満 | 5. 50～100人未満 | 6. 100～300人未満 |
| 7. 300人以上 | | |

(4) 在所年数について (1つを選択)

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 | 3. 5～10年未満 |
| 4. 10～20年未満 | 5. 20～30年未満 | 6. 30年以上 |

(5) 公害関連法令による届け出区分について (当てはまるものすべてを選択)


1. 大気汚染防止法に基づく特定工場・事業場
2. 水質汚濁防止法に基づく特定工場・事業場
3. 騒音規制法に基づく特定工場・事業場
4. 振動規制法に基づく特定工場・事業場
5. 愛知県公害防止条例に基づく指定工場・事業場
6. 愛知県地球温暖化対策推進条例に基づく特定排出者
7. 環境関連法令に基づく指定を受けていない
8. その他 (.....)

(6) 環境に配慮した経営手法について (当てはまるものすべてを選択)

1. ISO14001^{※1}の認証取得
2. 環境活動評価プログラム (エコアクション 21) ^{※2}の参加
3. 1, 2 以外の環境マネジメントシステムの認証取得 (KES^{※3}、自社独自システム等)
4. 環境報告書の作成
5. 環境会計^{※4}の導入
6. SBT^{※5}の認定
7. その他 (.....)

※1 ISO14001 は、産業活動等に伴う環境負荷を軽減するために、事業所を単位として、環境に関する方針や目標の作成、その具体化のための組織や責任、プロセスなどの基準を定めた国際規格です。

※2 環境活動評価プログラム (エコアクション 21) は、ISO14001 に対し、比較的容易に取り組むことのできる中小事業所向けの認証・登録制度です。

※3 KES は、「環境マネジメントシステム」の規格です。 
「環境マネジメントシステム」とは、企業との経営に当たって環境への負荷を管理・提言するためのしくみです。環境マネジメントシステムには国際規格 ISO14001 がありますが、中小企業には経費負担や内容の高度さなどが障害となって認証取得が困難であることから、より分かりやすく取り組みやすい規格として誕生したのが KES です。

※4 環境会計は、環境保全に対する活動を数値化し、その費用対効果を明らかにする手法です。

※5 SBT は、世界的に企業が取り組んでいる活動の一つで、科学的根拠に基づいた目標設定のことです。

【企業活動が与える環境負荷について】

問2 貴事業所の企業活動が周辺に与えている環境負荷があるとしたら何でしょうか。当てはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 大気汚染 | 2. 水質汚濁 |
| 3. 土壌汚染 | 4. 騒音・振動 |
| 5. 地盤沈下 | 6. 悪臭 |
| 7. 地下水汚染 | 8. 有害化学物質 |
| 9. 日照障害 | 10. 電波障害 |
| 11. 開発などによる自然の減少 | 12. 身近な生物種の減少 |
| 13. 廃棄物 (ごみ) の増加 | 14. 自動車などの交通量の増加 |
| 15. 資源・エネルギー使用量の増加 | 16. その他 |
- (具体的に:.....)

【環境に関わる取り組みについて】

問3 貴事業所では、現在、どのような環境に関わる取り組みを行っていますか。次の(1)～(26)の各項目について、それぞれ当てはまるものを **1つずつ** 選び、番号に○印をつけてください。

質 問 項 目	取り組んでいる	現在取り組んでいない		事業に該当しない
		今後取り組む予定である	今後も予定していない	
1. 事業所の建物、敷地内の緑化	1	2	3	4
2. 建物(高さ、色)の周辺景観との調和	1	2	3	4
3. 道路、河川、公園などでの清掃、美化活動への参加・協力	1	2	3	4
4. ばい煙や粉じんの発生防止対策	1	2	3	4
5. 水質汚濁防止対策	1	2	3	4
6. 騒音や振動の発生防止対策	1	2	3	4
7. 悪臭の発生防止対策	1	2	3	4
8. 節水	1	2	3	4
9. 再生紙の使用や紙の使用量の削減	1	2	3	4
10. グリーン購入（再生品など）の実践	1	2	3	4
11. 省エネ型製品など環境に配慮した製品の製造・販売	1	2	3	4
12. 冷暖房の温度設定やクール・ウォームビズによる省エネルギーの推進	1	2	3	4
13. 電灯のこまめな消灯や間引き、人感センサー導入などによる省エネルギーの推進	1	2	3	4
14. 離席時のパソコンや使っていない機器類のこまめな電源オフなどの待機電力のカットによる省エネルギーの推進	1	2	3	4
15. 省エネルギー型機器の導入	1	2	3	4
16. ごみの減量化対策	1	2	3	4
17. ごみの分別やごみの再資源化	1	2	3	4
18. リサイクル可能な製品の製造・販売	1	2	3	4
19. 簡易梱包の実践、梱包材などのリユース	1	2	3	4
20. エコカー（低公害車等）の導入	1	2	3	4
21. 公共交通機関の利用促進	1	2	3	4
22. アイドリングストップなどのエコドライブの実践	1	2	3	4
23. 共同輸配送などの輸送の合理化	1	2	3	4
24. 事業所内での環境教育の推進	1	2	3	4
25. 環境保全などに関する情報の収集・提供	1	2	3	4
26. 市民や環境保護団体などの環境保全活動への参加・協力	1	2	3	4

【環境に関わる取り組みを行っている理由について】

問4 問3で「1（取り組んでいる）」を1つでも選択された方にお尋ねします。貴事業所が環境に関わる取り組みを行っているのはどのような理由からですか。貴事業所の考えに近いものを**1つだけ**選び、番号に○印をつけてください。

1. 事業者が環境に大きな負荷を与えているから
2. 事業者に対して、環境を保全する取り組みを求める声が高まってきているから
3. 環境対策を講じている姿勢を、顧客や消費者に対しアピールするため
4. 将来的に事業活動が規制の対象になる恐れがあるから
5. すでに法律や条例で定められているから
6. 経費削減につながるから
7. 特に理由はない
8. その他（具体的に：.....）

【今後の環境に関わる取り組みについて】

問5 ~~全ての事業所~~にお尋ねします。貴事業所では、今後の環境に関わる取り組みについてどのようにお考えですか。貴事業所の考えに近いものを**1つだけ**選び、番号に○印をつけてください。

1. 事業者としての社会的責務を認識し、自ら積極的に環境保全に取り組みたい
2. 同業種の事業所などと歩調を合わせて取り組んでいきたい
3. 節電や再生品利用など、日常の取り組みが可能な範囲で行っていききたい
4. 法律による規制の遵守など、必要最小限の取り組みを行っていききたい
5. 今のところ取り組むつもりはない
6. その他（具体的に：.....）

何か支障はありますか。

【今後の環境に関わる取り組みを行う場合の支障について】

問6 貴事業所が、今後、環境に関わる取り組みを行う場合、~~支障があるとしたら何ですか。~~貴事業所の考えに近いものを **3つまで** 選び、番号に○印をつけてください。

1. 特に支障はない
2. 資金の不足
3. 人材の不足
4. 社内技術・ノウハウの不足
5. 手間や時間がかかる
6. 環境保全に関する情報の不足
7. 取引先や消費者の協力が得られない
8. 事業所内に環境保全のための取り組みを推進するための組織がない
9. どのような分野を重視して取り組むべきか不明
10. 実施したときの事業活動への効果が不明
11. その他（具体的に：.....）

【環境にかかるコスト負担について】

問7 貴事業所では、環境保全にかかるコスト負担についてどのようにお考えですか。貴事業所の考えに近いものを **1つだけ** 選び、番号に○印をつけてください。

1. コスト負担をしてでも、環境保全を最優先すべきである
2. 環境保全のためには、多少のコスト負担ならやむを得ない
3. 環境を保全するためとはいえ、できればコスト負担はしたくない
4. 経済性を重視し環境が少々悪化しても、コスト負担はしたくない
5. その他（具体的に：.....）

【環境問題への協力について】

問8 環境問題を解決していくためには、市民、事業者、行政の協働が必要であると思われませんが、貴事業所では、どのような協力ができるとお考えですか。貴事業所の考えに近いものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 環境保全に関する基金や環境保護団体などへの援助などの金銭的な支援
2. 各種の環境保全活動に対する労力（人材）の提供
3. 環境学習会や講演会などの開催などの会場の提供
4. 行政や市民団体などへの環境保全に関する技術などの提供的な支援
5. 特に協力できることはない
6. その他（具体的に：.....）

【環境に関わる取り組みを行う上での行政への要望について】

問9 貴事業所が環境に関わる取り組みを行う上で、**行政**に対してどのような支援などを望みますか。貴事業所の考えに近いものを3つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 環境に関する情報の収集、提供、相談窓口の設置
2. 環境保全に関する助成（融資）制度の拡充
3. 環境保全に関する技術的な指導、支援
4. 事業者を対象とした環境セミナーの開催
5. 環境保全に関する法律や条例などの整備
6. 事業所の環境活動の地域へのPRや協力要請
7. 事業所の環境に配慮した製品の~~地域へのPR~~を地域へPR
8. 環境対策を行う事業所・店舗に対する評価制度の確立
9. 環境保全に取り組む市民・行政・環境保護団体などの情報交換の場づくり
10. 特に望むことはない
11. その他（具体的に：.....）

【環境に関する用語について】

問 10 貴事業所では、次の言葉とその内容を知っていますか。貴事業所における取り組みの現状について、当てはまるものをそれぞれ 1つずつ 選び、番号に○印を付けてください。

言葉	知っている				知らなかった	
	1 ある 反映 させて 事業 活動に	2 がない 関連 するもの 事業 活動に	3 反映 は検討中 事業 活動への	4 興味 はない	5 知り たい 内容を 詳しく	6 興味 はない
地球温暖化※1	1	2	3	4	5	6
SDGs※2	1	2	3	4	5	6
生物多様性※3	1	2	3	4	5	6

※1 太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を暖め、その地表から放射される熱を温室効果ガスが吸収し大気を暖めています。近年、産業活動が活発になり、二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出されて大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めています。この現象を地球温暖化といいます。

※2 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標のことで、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



※3 生きものたちの豊かな個性とつながりのことを生物多様性といい、自然環境の豊かさを表しています。生物多様性は、動植物から細菌などの微生物にいたるまでいろいろな生きものがある「種の多様性」、同じ種であっても異なる個性を有する「遺伝子の多様性」、様々な生きものが関わって形づくられた里地里山、河川など「生態系の多様性」をも含んだ考え方です。

【省エネ・再エネ設備について】

問 11 貴事業所で、今後導入したい省エネルギー設備・再生可能エネルギーは何ですか。
貴事業所で当てはまるものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印を付けてください。

省エネ・再エネ設備	導入状況	導入している	導入を予定している	導入したい条件が揃えば	導入するつもりはない わからない・
1. 太陽光発電		1	2	3	4
2. 中小水力発電		1	2	3	4
3. 風力発電		1	2	3	4
4. 太陽熱利用システム		1	2	3	4
5. バイオマス発電・熱利用システム (薪ストーブ等含む)		1	2	3	4
6. 廃棄物発電・熱利用システム		1	2	3	4
7. 天然ガスコージェネレーションシステム※ ¹		1	2	3	4
8. 高効率給湯器・高効率ボイラー		1	2	3	4
9. 次世代自動車 (ハイブリッド自動車・電気自動車・ 燃料電池自動車、クリーンディーゼル 自動車等)		1	2	3	4
10. 温度差エネルギーシステム※ ²		1	2	3	4
11. 燃料電池		1	2	3	4
12. 蓄電池 (据え置き型のもの)		1	2	3	4
13. エネルギー管理システム (BEMS, FEMS)※ ³		1	2	3	4
14. 再エネ 100%電気の調達		1	2	3	4
15. その他 (.....)		1	2	3	4

※¹ 天然ガスを燃料として、発電するとともに排熱を蒸気や温水として利用するシステム。

※² 地下水や河川水などを熱源としてヒートポンプを用いて冷暖房に利用するシステム。

※³ ITを利用して照明や空調を制御して最適なエネルギー管理を行うシステム。

